

○地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業 令和5年度実施状況

(山梨県)

	事業名	事業の概要	事業の実施状況	KPIの達成状況	事業の成果及び評価
1	就職氷河期世代支援事業 【不安定な就労状態にある方への支援】	①就職氷河期世代支援事業の周知 ②就職氷河期世代限定求人確保・周知	山梨日日新聞に特集ページとして就職氷河期世代求人や就職イベント情報等を年4回掲載するとともに、8月28日にはLINE広告を実施した。 ①R5.7.2 : 48社の就職氷河期世代求人を掲載、同世代向けのセミナーや山梨県就職氷河期世代安定雇用助成金及び山梨県就職氷河期世代正社員化促進奨励金等の周知 ②R5.8.27 : 42社の就職氷河期世代求人を掲載、同世代向けのセミナーや山梨県就職氷河期世代安定雇用助成金及び山梨県就職氷河期世代正社員化促進奨励金等の周知 ③R5.10.22 : 42社の就職氷河期世代求人を掲載、就職支援イベントや就職支援サイト等の周知 ④R6.2.4 : 36社の就職氷河期世代求人を掲載、就職支援イベントや同世代向けのセミナー、就職支援サイト、山梨県就職氷河期世代安定雇用助成金及び山梨県就職氷河期世代正社員化促進奨励金等の周知	【目標】 就職氷河期世代の求人確保数168件 【実績】 特集ページにおいて、延べ301件の求人掲載	・求人掲載した企業に採用状況を確認したところ、応募が21人あり、その内1人の正規雇用に繋がった。 ・4年度の求人掲載延べ233件、応募数20人、正規雇用1人と比較すると求人掲載数・応募数は増加、正規雇用は同数となったが、氷河期世代本人だけでなく家族にも周知することができるなど、効率的な周知ができたと考える。
		③助成金による正社員雇用及び企業の定着への支援（厚生労働省「特定求職者雇用開発助成金（就職氷河期世代安定雇用実現コース）」への上乗せ）	国の特定求職者雇用開発助成金（就職氷河期世代安定雇用実現コース）に上乗せ支給する「山梨県就職氷河期世代安定雇用助成金」による助成を実施した。 制度については、県ホームページ、山梨日日新聞の特集ページへの掲載、労働局や経済団体経由での企業周知を実施した。	【目標】 就職氷河期世代で失業状態又は非正規労働者が正規雇用労働者として雇用された人数180人	・24事業所において24人の正規雇用に繋がった。
		④助成金による正社員化及び企業の定着への支援（厚生労働省「キャリアアップ助成金（正社員化コース）」への上乗せ）	国のキャリアアップ助成金（正社員化コース）のうち、氷河期世代の正社員化に上乗せ支給する「山梨県就職氷河期世代正社員化促進奨励金」による助成を実施した。 制度については、県ホームページ、山梨日日新聞の特集ページへの掲載、労働局や経済団体経由での企業周知を実施した。	【実績】 正規雇用24件、正社員化25件に対して助成金を支給	・21事業所において25人の正社員化に繋がった。
2	就職氷河期世代ひきこもり対策推進事業 【社会参加に向けた支援を必要とする方への支援】	①家族会、民間支援団体によるコンソーシアムとの連携によるLINE相談 ②Webメディアによるひきこもり支援関連情報の発信	家族会や民間支援団体で構成する「やまなしひきこもり支援コンソーシアム」によるLINE相談を実施した。 ・73名の友達ユーザー登録、23人の相談利用があった。	【目標】 県及び民間支援団体が行う就労訓練事業や居場所への参加者数 10人 【実績】 10人 <内訳> ・居場所参加：3人 ・就労訓練：3人 ・就業体験：4人	・氷河期世代よりも若年層の利用が目立ち、友達ユーザー数も含め事業成果が鈍化している。 ・ひきこもり当事者や家族へ周知できていると考えられ、社会参加に繋がった。